

# 第30回 鹿児島県柔道選手権大会 (第62回九州柔道選手権大会鹿児島県予選) 実施要項

- 1 主催 公益財団法人鹿児島県柔道会
- 2 後援 鹿児島県教育委員会 公益財団法人鹿児島県体育協会 南日本新聞社
- 3 期日 令和2年2月1日(土)  
※ 審判会議=9時00分  
※ 開会式=9時30分
- 4 会場 鹿児島アリーナ武道場
- 5 出場資格
  - (1) 県内で令和元年度の全日本柔道連盟登録済の者。
  - (2) 下記に示した人数以下及び主催者が特に認めた者とする。
    - ① 各地区 鹿児島地区4名、その他の地区2名以内とする。ただし、川内地区、肝属地区については、自衛隊枠を別に2名設ける。なお、下記の②～⑦に該当する者は除く。
      - ② 県警察 6名以内
      - ③ 鹿児島刑務所 3名以内
      - ④ 国分自衛隊 4名以内
      - ⑤ 鹿屋体育大学 6名以内
      - ⑥ 鹿児島大学 2名以内
      - ⑦ 高体連 若干名
      - ⑧ 推薦 前年度の1・2位入賞者
      - ⑨ その他、主催者が認めた者
- 6 競技規則
  - (1) 国際柔道連盟試合審判規定で行う。
  - (2) 試合時間は4分間とする。
  - (3) 優勢勝ちの判定基準は、全日本選手権、九州選手権に準ずる。
  - (4) 試合の方法は、トーナメント方式とする。
- 7 組合せ 主催者において決定する。
- 8 表彰
  - (1) 第1位から第5位までを表彰する。  
(第3位決定戦は行わない。第5位決定戦を行う。)
  - (2) 永年出場者を表彰する。
  - (3) 広告協賛協力者に感謝状を贈呈する。
- 9 参加料 2,000円(大会当日、受付で納入する。)
- 10 参加申込み 令和元年12月13日(金)必着で申し込みすること。
- 11 その他
  - (1) 脳震盪対応について
    - ア 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診療を受け、出場の許可を得る。
    - イ 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。
  - (2) 皮膚真菌症(トングランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療関係において、的確な治療を行うこと。選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場が出来ない場合もある。
  - (3) 上位4名は、3月8日(日)に福岡武道館で行われる第62回九州柔道選手権大会の出場権を得る。但し、特別な事由がある場合は、この限りではない。
  - (4) 選手は、「スポーツ安全保険」等に参加しており、健康であること。
  - (5) 試合による負傷については、試合場での応急処置のみとする。
  - (6) ゼッケンは、必ず対角線にも縫い付けること。
  - (7) 当日は駐車場の混雑が予想されるので、できるだけ公共交通機関を利用すること。
  - (8) 出場者は、「スポーツ安全保険」等に参加しており、健康であること。
  - (9) 個人で靴を管理するために、各自ビニール袋を準備すること。